

ある日の出来事

奥野之雅

喜寿を迎えた昨年 9 月のある日、3 時間ほど畑を耕し施肥を行った。暑さで汗びっしょりとなり、家に帰って玄関で靴を脱ぐと同時に、左足首がこわばって立てなくなり座り込んだ。すると右足首も反り返ってきた。脱水? と思い家内に水を持ってきてもらい飲むとおさまってきた。やっと歩けるようになって、台所のテーブルに座った途端、今度は右手の指がつってきた。左の手でおさえておかないと指が曲がってくる。そのうちおさまると思っていたら、次に左手の指がこわばり始めた。両手をテーブルに押し付けて曲がってくる指を懸命に押さえていると今度は左手の肘が反り返ってきた。まだ脱水状態と思い家内に近所の自動販売機でアクエリアスを買ってきてもらいそれを飲むとすべてのこわばりがなくなりほっとした。

もし人のいない畑でおきていたら?_ 家内が家にいなかったら? と考えると怖くなった。

脱水が起きた 2 日後に定期検診で医者から「腎機能が大幅に低下している。何かあったのか」と聞かれ今回のことを話すと、「年取ったらのどの渇きを感じられなくなる。常に水を飲むように」と注意された。

齢を取るということは単にボケることだけでなく、身体が欲していることも感じられなくなってくるのだとつくづく感じた次第。

ぜひ皆様もご用心を。